

令和4年度第3回四万十町総合振興計画審議会 会議録

開 催 日 時：令和4年7月14日（木）17：30～18：30

場 所：本庁西庁舎 3階 防災対策室

出 席 者：横山 順一、太田 祥一、百田 幸生、神田 修、船村 覺、
三浦 ひろみ、山本 由美、野村 宏、鈴木 幸代、酒井 紀子、
藤澤 久美子、八木 雅昭、浅野 尊子

欠 席 者：尾崎 弘明、横山 泰久、佐々木 将司、森 雅順、田邊 誠進、
川添 節子、岡村 健志

■会議次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 令和3年度地方創生拠点整備交付金の効果検証について（海洋堂ホビー館リニューアル事業）
4. その他
5. 閉会

■会議資料

1. 会議次第
2. 委員名簿
3. 令和3年度地方創生推進交付金事業評価資料
4. 令和3年度地方創生推進交付金経費内訳報告書
5. 委員評価シート

（事務局）

ただ今より、四万十町総合振興計画審議会を始めさせていただきます。はじめに会長からご挨拶をいただきます。

（八木会長）

みなさんこんにちは。本日は、第3回の審議会ということでございますけれど、前回実施しました地方創生推進交付金事業の評価に引き続き、今回は地方創生拠点整備事業の評価をやることになっています。我々の任期も本年8月までとなっておりますので、今回が最後の会になろうかと思えます。コロナの方も感染が拡大しておりまして、高知県も本日は300人を超しているとのことで、お互い健康管理には気を付けていきたいと思っております。それでは本日もよろしくお願いします。

（事務局）

資料の確認及び本日の進行について説明。〈省略〉

（八木会長）

それではさっそく効果検証の方に入りたいと思います。資料の説明について、担当課の方でよろしくお願いします。

（にぎわい創出課：笹岡係長）

資料について説明。〈省略〉

（八木会長）

ただ今担当課の方から説明がありましたが、ご質問があります方はよろしくお願いします。

（酒井委員）

自分は、この改修については把握してなくて、私自身は個人的にかっぱ館が大好きなので、時々訪れては遊んでいるんですけども、お友達をご招待して遊ぶ時も、窪川で何か物を買ってきていないと現地で買うものがないとか、十和から行くときもそうで準備して行かないと、打井川周辺で食べる物はないからっていうことを事前に言わなくてはいけない状況だったので、改修によってそうした所が改善されていくのかなってという期待がすごくありますね。この1番最初の1ページ目の事業名のその下の地方創生として目指す将来像と構造的な課題というところと、このホビー館のリニューアル事業の中身の取り組みのつながり方っていうのが見えてこなくて、もちろん観光客誘致とか活性化ですごく寄与するところはあると思うんですけど、ここの資料にある将来像や構造的な課題について、そのホビー館はどういうふうにアプローチするということなのか疑問があるんですけど、そのあたりについて教えてください。

（にぎわい創出課：笹岡係長）

ホビー館と四万十川流域全体というものを結びつけているところが、いまひとつよく分からないということなんですが、ホビー館は四万十町ではかなりの町外客の利用者が多いということで、こういったところを軸と致しまして、四万十町内全域に人が広がっていくような、そういった取り組みをしたいということで、ホビー館を中心としたイベントとかもやっております。そういった中で中心となる施設でございますが、今まで団体客の受け入れが難しかったということもあり、そういったところを改善していきながら拠点となる施設として改修を行ったところです。

（酒井委員）

観光客向けの取り組みというのはすごく見えてくるんですけど、この資料の地方創生として目指す将来像のところに、四万十川流域の環境保全に努めるとか、学校と地域の連携や地

域の担い手となる人材とか、ふるさと教育とかそういう文言が手前についているだけに、ホビー館で例えばアユについてのフィギュアの展示があるとか、川について何かをもっと盛り込むとか。例えば私は明後日行くつもりなんですけど、アリス展なんですよ。アリス展もすごく楽しみだけど、その前にやっていたウルトラマンとか、アリスとかはたくさん外からも中からも人が来ると思うし、行きたいと思える企画をたくさん組んでくれるのは大変嬉しいですけど、その四万十川に特化した何かという企画的なものとかを組まれる予定があるのかとか、そういうところもイメージされているのかなっていうのを、その手前の1枚目の資料があるためにお伺いしました。

（にぎわい創出課：小笹課長）

このホビー館については、その文章の中の一部の関係人口の増加ですとか、交流人口の増加、そういったものを目指して、四万十町の観光を盛り上げていこうということで、観光客を引き込んでいくためにホビー館が中心となって機能していくために改修を行う事業であって、その他の事業についてはこういうことも考えて、いろんな事業ができるように企画課の方で取りまとめられた内容だと思います。

（事務局）

こちらの事業を計画するにあたりましては、前回評価をいただきました地方創生推進交付金事業でご説明させていただきましてとおり、四万十川の観光や環境保全をはじめ、アユ資源の活用などそういった資源を有効活用しながら地域の活性化を目指すというところで、このホビー館の改修についても単にホビー館を改修して終わるのではなく、今度三島キャンプ場の改修も予定しておりますけれども、そうした自然体験型のアクティビティを四万十町の売りにして行く中で、やっぱり拠点となる施設の整備っていうのはすごい大事だということで、今回一体的に計画をしたところです。

（八木会長）

他にございませんか。

（船村委員）

単純な質問かも知れませんが、このホビー館とかっぱ館を含めて、地元雇用はあったんでしょうか。あったら何名ぐらいがいま従事しているんでしょうか。

（にぎわい創出課：笹岡係長）

地元の人間が雇用されている事は分かっているんですけど、パートの方もいらっしゃると思いますので、正確には分かりかねますが、正社員だと3名は雇用されています。

（太田委員）

休憩室と物販の機能ができたということですが、最後の方に平面図がありますので、ここ

でちょっと説明をいただけたらと思います。どんなものが売られているとか、図面上でみてどんな形でやられているのかなど。

（にぎわい創出課：笹岡係長）

改修後平面図（1階）というのを見てもらえたらと思いますが、この左下にあります休憩所と書かれている部分が今回増設した部分となっております。ここが休憩所兼フィギュア等の販売スペースとなっております。それで、外にテラスもありまして、こちらにもテーブルがございますので、こちらでも飲食が可能なスペースとなっております。また、次のページの色が黒く塗られているところで多目的室4と書いてあるところですが、こちらが今まで物品の収納スペースになっていたのですが、多目的室として広げることによって、現在では修学旅行生の受入とか、団体客を受け入れるスペースとなりました。

（八木会長）

ほかにご質問ございませんか。

（横山委員）

2階を改修したということで、団体客とかにも対応することが、以前よりも容易になったのではないかと思います。それで、これからのことですが、団体客の受け入れを増やして行く方策というのは、どういう取り組みをするのかということをお聞きしたいのと、将来にわたっての話になりますが、今改修したばかりではあります、改修には多額の費用がかかりますので、次回もし改修する機会があるとすれば、たぶん今回の改修はいろんな要望とか、来てもらった人のアンケートを参考にしたりして改修を計画したと思いますが、次回十年後か分かりませんが、改修を計画する時には、こういうビジョンがあって、ここは足りないと思うので今後、こういったところを改修したいとかこう改善したいとかっていう他の部分が今あれば教えてもらいたいと思います。それからの最後の方に写真がのってるんですけど、もう少し中の様子が分かるような写真があったら良かったと思います。それから経費内訳報告書の中に什器の作成というの也有りますよね。それはどういったものなのか内容について教えてください。

（にぎわい創出課：小笹課長）

一部だけ先にお答えしますが、実はこの改修工事において、一部工事費の高騰といいますが、資材費が高くなりまして外壁の塗り直しとトーテムポールの移設は実施できませんでした。そのため、近いうちにトーテムポール1個を手前にもってきたいと考えています。その他の大規模改修については今のところ未定でございます。

（にぎわい創出課：笹岡係長）

団体受入の宣伝方法とか周知の方法なんですけど、今ホビー館の方でSNSなんかで発信しているところで、あとイベントに参加していただいた方に、ものづくりに興味を持ってい

ただいたところをきっかけとして、団体客の誘致を図っていきたいと考えております。また、写真につきましては、これが完成検査の時の写真をつけておりますので、まだ何も入ってなかった状態だったんで、外観だけを取らせてもらってるんですが、次回からこういったことがあった場合は活用方法についてわかるような写真を付けるようにしたいと思います。什器につきましてですが、160万円ぐらいの什器となっておりますけど、これはフィギュアを飾る棚を3つぐらいのタイプに分けて、それを15個ほど整備したものになっております。

（浅野委員）

私はオープン時に行っただけで今の状況は分かりませんが、この改修の建物の中に地元の産品、特に農産物でもなんでもいいんですけど、それは置かれている、あるいは販売されているような状況なんですか。

（にぎわい創出課：笹岡係長）

現在は打井川地区の農家の方から、玉ねぎとか梨であるとか、そういったものを今は数が少ないんですけど、ひと棚だけ置かれて販売されている状況です。

（浅野委員）

なかなか大変だと思いますけれども、あそこまで行って野菜を買うっていうのも、よほど大正の人と親しいとかがないと、なかなか購入しづらいのかなというのがあります。永遠の課題だと思いますけど、打井川の上の集落の活動センターを使った食の提供であるとか、あるいは周遊を促すためにあそこで食べるところがなければ、周辺の食事処の地図ですかね。ランチマップじゃないですけども、そういうのはホビー館に置いていただくとか、何らかの手当てをとっていただけたらありがたいなと思いました。

（三浦委員）

先ほど説明にもあったんですけども、集客力の高い観光拠点である海洋堂ホビー館の改修ということで、改修することによって、今まで以上にここだけにお客さんが集まるのではなくて、四万十町全体に関心を持って来てくださったらいいと思いますし、先ほど他の委員もおっしゃったように、やはり私もこの施設ができた頃は、近くでアイスクリームとかおむすびだとか売っていたと思うんですよ。それで、やっぱりせっかく来たんですから、このフロアを利用して四万十町のPRを精一杯行ったらいいと思うし、それで私も今回申し訳ないんですけど、このフィギュアの国のアリスっていう企画展があるとか全然知らなくて。ケーブルテレビはよく見るんですが、これはやっぱりその町外から来てくれるということも大きいんですけど、四万十町民の人たちにケーブルテレビで今度企画展がありますとか、そういう呼び掛けもしているのかをお聞きしたいのと、アリスの不思議なカードラリーというホームページを見てみたら、四万十町と南国市の参加店舗で食事や買い物をするとポストカードがもらえるとかオリジナルグッズがもらえるなど、ホビー館だけではなくて、他の飲食店や観光地にも足を運んでくださいねっていう心意気を感じます。これは、もちろん関心ある方は

ホームページを見て知っていると思いますが、そういうことを知らなかった方も、ホビー館に来た時にこんな企画をやっているのだということが分かり、じゃあ四万十町で買い物していこうとか、食事をしていこうとか、そういうことも分かるようになっていきますか。

（にぎわい創出課：笹岡係長）

ホビー館の方でもパンフレットなど設置しておりますので、来場された方には今こういった取り組みをやっておりますということが分かるようにしております。ケーブルテレビの方での周知については今後予定しております。

（三浦委員）

このアリスの企画で参加してるお店は多いのでしょうか。

（にぎわい創出課：笹岡係長）

今回は四万十町と南国市でともに 25 店舗ずつ参加していただいております。

（八木会長）

他にご質問ございませんか。

（山本委員）

質問ですがフィギュアの好きな人は今も県外からもたくさん来られているのかと、フィギュアを作っているところもここで見られるようになっていくのでしょうか。それから、ホビー館でどのような物を売っているか教えてください。フィギュアは高いので子供はなかなか買えないと思いますが。

（にぎわい創出課：笹岡係長）

フィギュアに興味のある方が来られているかという話なんですけど、現在も一定数毎年企画が変わる度に来られる方もいらっしゃいます。また、来られた時には何万円も使って帰られる方も多数いらっしゃいます。それで、物品販売のご質問ですが、値段の高いものが多数ありますが、中には小さいものであるとか、そこそこ値段の安い物もありますし、ガチャガチャ等の子供でも手が出せるような商品もありますので、大人じゃないと買えないということではないです。

あと、フィギュアをつくっているところを見れるかということなんですが、四万十町のホビー館は展示するスペースだけになりますので、フィギュアを作ったりするところが見えるかといえは見れないですが、南国市の方にスペースファクトリーというのが去年できましたけど、そこではフィギュアを作っているところを見たりすることができるという施設になっております。

（八木会長）

私の方から1点だけご質問ですが、活性化拠点ということで施設を開設したんですけれども、稼働状況と現在の地域との連携がどのようになっているか教えてください。

（にぎわい創出課：小笹課長）

今回、一階の休憩所の方で販売をするような形で、打井川地区の方とも話をしたんですけれども、谷小家の方も現在活動休止が続いている状況になっています。それで、役場の方としましても谷小家の活用であるとか、先ほどから話が出ております飲食ですよね。そちらの方はまた働き掛けていきたいと思いますけれども、何分お客さんの出入りが多い日と少ない日があったりするため、そういったこともあり地域活動の方が低下してるのかなと思います。今後はこれを機会に販売の方も地域の方に話を持って行って、再び地域とホビー館の連携を強めて、活性化に繋げていきたいという思いがありますので、継続してやっていきたいと思っています。

（酒井委員）

質問というかお願いなんですけど、今日もアリスの企画展があったことを知らない人が多いので、こういった場に積極的にチラシを持ってきていただいたらイメージも掴めるのかなと思いますし、さっきもどなたかもおっしゃってましたが、地域との結びつきをもう少し強めるとすれば、以前は入口に入ったところでフィギュアを作るところもあって、モノづくりに子供たちが参加できる時もあったので、それがなくなったのかと思ったらちょっと寂しい気がします。それで、難しいかもしれませんが、夏休み前に町内の小学校に出向いて、こういったチラシの配布とともにすごく簡単なモノづくりを一緒にするとかっていうことをしていただけたらどうかと思います。何もなしにホビー館にきて、ここでモノづくりをやるからおいでやってという誘いかけをしても、なかなか四万十町内でも遠いから、二の足を踏む親御さん多いんじゃないかなと思うのですが、一旦こうして出向いていただいて、チラシと一緒に宣伝をしてくれたら、こんなのがあって僕らも行きたいっていうふうに、家でも話をする子供もいると思うので、また良かったらそういったことを企画して頂けたらなと思いました。

（にぎわい創出課：小笹課長）

ありがとうございます。また、ホビー館の方とお話をするときにご意見として参考にさせていただきます。

（八木会長）

その他ご質問などありませんか。

（神田委員）

お願いになりますが、構いませんか。私も仕事で流域の観光事業者と色々やっているんで

すけど、やっぱり四万十川の大きな課題としてオフシーズンと、もう1つお客さんが雨の時に何もすることがないっていう問題があって、やっぱりその中でホビー館と、それからヤイロチョウと、トンボ公園ぐらいはせめて雨が降ったときに、そこにいったらどうですかと紹介できる拠点になると思います。そういった意味での活かし方みたいなのを、四万十町さんだけじゃなくて、流域の観光事業の中でぜひ位置づけて頂けたらなと思います。

あと、企画課の四万十川振興室が川の体験を気軽にできるように色々と計画してくれているんですけど、コロナでなかなかうまく進んでいないですが、やっぱり特にカッパ館の周りってというのは、かなり川遊びがしやすいところなので、そこら辺を整備していただいて、もっとその辺りがキャンプというか、手軽に川遊びができるような場所に整えていただけたらなと思います。

(八木会長)

他にございませんでしょうか。ないようですので、ひとまずこの事業についての質疑は終了して、日程の4番目のその他にいきたいと思います。事務局から説明をお願いします。

(事務局)

4月に開催した第1回審議会の行政評価のとりまとめ結果について説明<省略>

(八木会長)

このことについて、何かご質問などありませんか。特にないようですので、外部評価シートの取りまとめ結果については一定ご理解いただいたということでよろしくお願いしたいと思います。以上で、本日の予定の内容が全て終了しました。前段でも申し上げましたように、今日の審議会がこの2年の任期の最後の会ということで、私の方からお礼を申し上げたいと思います。

この2年間、この審議会の方につきましては、皆様方のご協力をいただきまして、第2次総合振興計画後期基本計画の答申を昨年度に行うことができました。時代はどんどん変わっておりまして、人口も合併後6000人あまりが減少し、それから20年後には四万十町の人口も1万人をきるんじゃないかと言われている中で、やはり時代にあった計画が必要ということで、with コロナとかSDGsとか、ITとか今の時代にあった計画について、皆様のお知恵をお借りしながら、無事に会の進行ができたことにつきましてお礼を申し上げたいと思います。私は一般公募委員でありながら、会長ということで大変恐縮しておりますけれども、4年間委員を務めさせていただきました。四万十町は合併後16年経過してきた時ですね、やはり当初に目指してきたものがあったと思います。それはもちろん総合振興計画もありますけれども、自治基本条例ということで住民も議会も行政も一緒に地域を高めていくと、そういう大きな目標があって自治基本条例があったのですが、そういうものが総合振興計画とどうリンクしているかなと思ったときに、やっぱりリンクの弱さというものを感じていたんです。ただ、もっと住民がこの計画に関わっていく。特に上位計画ですので、理解をしていただくように、行政の方も取り組みをこれからもお願いしたいし、それから人口減少が進ん

でいく中で、住民力、地域力を高めていかないといけないと思いますので、そういう観点で取り組みをお願いしたいと思います。

1次の総合振興計画の中では地区別整備計画があって、それに基づいて地域自治区をどうしていくかという議論をしてきた経緯もあり、これからそれぞれの地域でどういう地域づくりをしていくのかということも、大きな課題かなと思いますので、ぜひ行政の方もそうした点を検討いただきながら、住民参加できる地域づくりを推進してほしいと思いますし、その基本となるのが総合振興計画であろうというふうに思いますのでぜひよろしくお願いしたいと思います。

私たちは一般公募委員ですので、今日で終わりとなりますけれども、各事業所官庁の委員の皆様は次の任期も是非ともよろしくお願いしたいと思います。2年間ありがとうございました。最後になりますが、副会長からご挨拶をお願いします。

（船村副会長）

どうも皆さん、この2年間本当に苦労様でございました。そしてありがとうございました。今晚のこの2年間の総括ということで、懇親会の計画をしておりましたところ、コロナ関連で中止ということになったそうで非常に残念に思います。またこの会議で自分が一番年寄りかもわかりませんが、若い人の意見、四万十町に対する情熱とか、そういうものをものすごく感じました。皆様におかれましては、コロナの感染にも気を付けていただきまして、また機会があればこういう場に積極的に参加していただきたいと思います。本当にありがとうございました。

－ 終 了 －